

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和12年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	有田町立曲川小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	それぞれの項目において、学校全体で取り組んできた結果、児童の姿や姿勢や保護者の理解と支援、地域の方の協力をいただいていることを実感している。児童を育てていくには、学校内での意識と目標の共有・実践、学校と家庭・地域との密な連携が重要であることを改めて考えさせられている。次年度は、これまでの取り組みをより厚く、活発にするためにも、成果の上だった項目をより高めつつ、課題をしっかりと把握し、改善に努めていきたいと考える。学力の向上については、校内研究で望ましい集団づくりを核とした学習環境の向上をめざし、学習状況調査を中心にPDCAサイクルを確立した取り組みをすすめたいと考える。
------------------	--

2 学校教育目標	心身ともに健全で、自ら考え行動し、豊かな人間性をもつ子どもの育成
----------	----------------------------------

3 本年度の重点目標	①命を大切に、健全な心や体づくりの推進 ～たくましい心や体を育てる～ ②自ら学ぶ喜びを味わい、主体的・対話的な学習の推進 ～授業で育てる～ ③豊かな心を育む特別活動の推進 ～認め合い・支え合う心を育てる～
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○若手教員と共に授業力向上に取り組む、1時間1時間を大切にした分かりやすい授業実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○各教科の基礎的・基本的な課題に対し、児童の正答率85パーセント以上	・職員間でマイプランを共有するとともに、学力向上校内研修等により、取組の促進を図る。 ・各学年の「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の効果的な工夫の工夫を行う。 ・基本的な学習スタイルの確立を進め、自ら学ぶ「楽しさ」が学びの意欲や学習意欲から習得させるための取組を実施する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動するなど、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自分の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高めるための教育活動	○校内研究(特別活動)や日々の授業の中で人権・同和教育の視点に留意した学級集団づくりを取り組み、後期のQ-Uテストで要支援群5%以下にする。 ○いじめ防止や早期発見のための取り組みや事業対応において、組織的対応ができていると回答した教員80%以上 ○自分のなりたいものや将来の夢を語ることができる児童を90%以上	・各学級、道徳の参観授業を1回以上実施する。 ・特別活動の理論実践研究を全職員が深め、「友だちアンケート」やQ-Uテスト等を生かして実施把握し、授業実践する。 ・校内研究や日々の授業の中で人権・同和教育の視点に留意して取り組む。 ・日々の観察とともに、「心のアンケート」やQ-Uテストを行って児童の実態を把握する。その結果をもとに、個別に指導を行い、いじめ等の早期発見に努める。また、学級の状況やいじめについての研修を行い、児童の把握やいじめのメカニズム等について理解を深める。 ・SCやSSW来校日には、児童が相談しやすいように場の設定や保護者への情報提供を行う。 ・キャリア教育を積極的に授業に取り入れ、地域のゲストティーチャーを招き入れて児童の視野を広げ、向上心を高める。 ・全教科や学校行事を通して、夢や目標について自分自身を見つめる時間や場面を設定する。							研究主任 人権・同和教育担当者 道徳教育推進教師 生徒指導主任 人権・同和教育主任 教育相談担当 研究主任 教務主任
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・安全に子どもたちが参加できるように、子ども見守り隊の方々に支援を依頼し、安全安心な環境づくりへへの感謝の気持ちを子どもたちが持てるような取り組みを行う。 ・PTA役員と職員が歩いて通学路の点検を行い、校区安全マップを見直す。 ・各学年に応じた交通安全指導をするとともに、腰を上げて歩く、ルールを守って運転することの大切さを学校全体で指導する。							生徒指導主任 教頭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○会議の時間短縮と、内容の精選	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○会議資料はなるべく電子化し、職員会議等の時間は1時間以内	・各学年で計画的な食育指導を行い、栄養教諭と連携した食育授業を年1回以上の授業を実施する。 ・文書整理、印刷管理、教職員補助教材・教員購入等を行う。 ・ICT支援員を積極的に活用し、動画教材の作成や、簡単なデータ管理・保管を行う。 ・デジタル教材の共有化、管理の徹底を行う。 ・部会での検討を十分に行い、会議での検討内容を精選しておく。 ・職員がデジタル資料を事前に準備し、協議の時間を確保する。							食育担当 栄養教諭 保健主事 管理職 事務主幹 教務主任 各部会部長

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●特別支援教育の充実	○特別な支援や配慮を要する人に対する意識と教員の専門性の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員70%以上	・夏季休業中に講師を招聘して特別支援教育の研修を全職員対象で行う。 ・気になる子の共通理解の場を週1回の職員連絡会で行う。また、特別支援教育コーディネーターや特別支援教育支援員を中心とした支援会議を随時行い、児童の状況や対応の方策を話し合う。 ・必要に応じて特別支援学校と連携し、巡回相談を実施する。			

●...県共通 ○...学校独自 ○...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--